

加藤明子氏

1. 立候補を決めた理由を教えてください

市民の笑顔を創るために議員として政治を改めていくことが必要。過去3期、情報の公開やICTの導入など、市民の生活と政治をより近づけようと力を尽くしてきた。女性の視点や弱者の立場、子供たちの未来について市民と共に考え、市民目線で課題を共有する現場主義の議員として活動してきた。今まで解決できた課題もあるが未解決な課題や新たな課題も多い。これからの100年も笑顔あふれる沼津になるよう取り組んでいく。

2. 沼津市が現在抱えている最大の課題は何で、どのような対応策が必要だとお考えですか

コロナ禍の影響もあり市民が自分自身や沼津市の将来に対して、明るい希望を持ち難くなっている事が最も大きな課題と考える。少子高齢化など一朝一夕には解決の難しい社会課題も多いが、市民の幸せと人口や経済の規模は必ずしも比例するわけではないと考えている。様々な課題に対して講じられている対策に、市民の理解を求めながら、将来への希望を持って共に取り組み、市民目線の議員として明るい未来を創っていきたい。

3. 沼津駅付近鉄道高架事業により沼津市の再生は可能だと考えますか。可能だとすれば、そこには、どんな因果関係があると思われますか。

再生ではなく新しい沼津市の第一歩である。鉄道高架事業の計画から30年以上を経て、鉄道により分断されてきた南北の交通網の円滑化、渋滞解消や中心市街地の一体化など、構想だけで、ずっと停滞しているようにしか見えなかったまちの姿が、市民の目に見える形で進化していくことで、市民だけでなく沼津市に集う人々の期待感を膨らませる。将来への希望は人と資本を呼び込む。既に民間投資の再開発事業も始まっている。

4. 沼津市の人口減少について、国の関係機関の予測を上回るような沼津市当局が考えている合計特殊出生率の達成は可能だと考えられますか。移住・定住策で何か、お考えはありますか。

大変厳しく長期計画でなければ解決できない。もっと沼津市の強みを活かした策を採る必要がある。沼津市の大きな強みとして近隣市町から多くの高校生が通学している。大半の高校生は卒業後この地域を離れてしまうことも多いが、沼津に通学していた若者達に特化したU、Jターン施策に重点的に大きな予算を付けるべき。もともと沼津市に縁のある若者なので永続的な移住が見込めるうえ、出生率向上や就労人口増加も期待できる。